

# スライムクリーナー

## コンセプト

1液で水が循環するホース内の汚れ、菌類などの洗浄と殺菌を同時に行うことが出来る殺菌洗浄剤



## 御社の装置は上記写真のような状態になっていませんか？

湿し水循環タンク、中継タンク、水舟、循環ホースの内壁には乳化したインキ・紙粉・スプレーパウダーなどが混ざり合い、コールタールのような状態になりビッシリとこびりついています。その汚れを好む菌類が発生します。

ヒートセット型オフセット輪転機で使用するシリコンアプリーケーターには、帯電防止剤・シリコン滑走剤・洗濯用柔軟剤などが固形化、そして腐敗して菌類が発生します。

このような状態を解決する殺菌洗浄剤「スライムクリーナー」をお勧めします。

## 特徴

1液の殺菌洗浄剤を循環させるだけで、乳化したインキ・紙粉・スプレーパウダーなどの汚れだけでなく、菌類の殺菌も出来るように開発されたのが「スライムクリーナー」です。

弊社では、1年に2回のタイミング（夏休み時期、年末大掃除時期）の洗浄作業を強くお勧めします。

## 効果

- ①循環装置内にこびりついている菌類、インキ、紙粉などの汚れを洗浄殺菌します。
- ②定期的に洗浄作業を実施することにより、湿し水の変動要素を取り除き、ph と伝導率が安定します。

## 薬品容量

1L 容器：200L（0.5%希釈）まで対応可能

適用法令：有機則・PRTR 非該当 ご使用前に必ず安全データシート（SDS）をお読みください。

## 使用方法

- ①循環タンクと中継タンクの総量を確認してください。200Lまでの容量でしたら1L原液で充分です。
- ②循環タンク周辺に設置されているフィルターや濾過装置を取り外してください。
- ③使用していた湿し水はそのままの状態で行う洗浄を開始します。スライムクリーナー原液を循環タンクへ添加してください。アルカリ性で洗浄しますので、体に付着した場合には大量の水で洗い流してください。
- ④添加後、1時間程度循環してください。汚れ具合によって循環する時間を調整してください。  
この時、冷却機能の電源は切っても問題ありません。
- ⑤洗浄終了後、排水作業を行ってください。この時、中継タンクがある場合には、中継タンクから汚水を汲み上げ排水すると、すすぎ作業が早くなります。
- ⑥真水を投入し、すすぎ作業を行ってください。洗浄中に乳化したインキ・紙粉・スプレーパウダーや菌類の死骸が排出されます。
- ⑦汚れが完全に洗い流されれば作業終了です。  
新しいフィルターを設置し、濾過装置を取り付けてください。

## 使用手順

- ①スライムクリーナー投入前
- ②pH6.13を示しています
- ③スライムクリーナー投入後10分経過、汚れが溶け出します



- ④pH12.24を示します



- ⑤循環1時間後  
汚れが完全に溶け出します



- ⑥洗浄終了後、底まで見える  
ぐらいに綺麗になりました

